

新入社員研修、戦力育成図る

防犯の心構え学ぶ

岐阜信金

岐阜信用金庫（岐阜市神田町）は6日、新入職員の防犯研修を本店で行った。

新入職員90人が参加。日本防災通信協会県支部の赤堀彰茂統括支部長を講師に招き、防犯の心構えや事件に遭った際の通報の方法を学んだ。

赤堀統括支部長は、金融機関の店舗で強盗が起きた際の通報装置の仕組みや犯人への対応方法を説明。事件の未然防止策として「犯人は顔を覚えられるのを嫌う。来店者には顔を見て声を掛けることが大事」とアドバイスした。

参加した中山耕太郎さん



事件が起きた際の通報装置の仕組みを説明する赤堀彰茂統括支部長。岐阜市神田町、岐阜信用金庫本店

（22）は「事件が身近なことに思えた。未然に防ぐための準備が必要と感じた」と話していた。